

平成30年度秋の叙勲伝達式及び祝賀会の実施

平成30年12月3日、平成30年度秋の叙勲伝達式及び祝賀会が総領事公邸において実施され、クリチバ市在住のルイ・キヨシ・ハラ氏が旭日双光章（きょくじつそうこうしょう）を、テレザ・ミホコ・ミウラ氏が瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）を受章されました。

長年にわたり日系人の地位向上及び日伯間の相互理解の促進、友好親善に寄与しその功績が認められたもので、木村在クリチバ日本国総領事は日伯の相互理解のみならず、日系人の地位向上の裏には受章者の皆様の功績によるところが大きく、両国友好関係の益々の緊密化を希望する旨祝辞を述べました。

叙勲伝達式

1 ルイ・キヨシ・ハラ（原 清ルイ）氏の功績

学生時代より日系社会の様々な活動に励まれ、クリチバ日伯文化援護協会会長（2018年度末まで）及びブラジル出稼ぎ協会の設立者及び初代会長など様々な役職を通じ、日系若手層の結束に尽力されました。また日系人政治家としても活躍され、クリチバ市議会議員、パラナ州議会議員、パラナ州都市開発局クリチバ大都市圏調整局長等を歴任されました。日本祭りを通して日本文化の継承や普及を行うと共に、日本企業の投資環境整備と市役所の働きかけ等による地域の日系人地位の向上及び日伯関係の緊密化に功績を残されています。

2 テレザ・ミオコ・ミウラ（三浦 美穂子テレザ）氏の功績

在サンパウロ総領事館クリチバ出張駐在事務所が1974年に開設された当時に事務職員として、また在クリチバ日本国総領事館職員として、1年間日本国への県費留学生として離職しながらも以後復帰され、合計41年4ヶ月にわたり勤務されました。日本国政府では、在外公館活動に永年寄与されたミウラ氏に敬意を表し、瑞宝章を授与しました。



ハラ氏への旭日双光章の伝達式



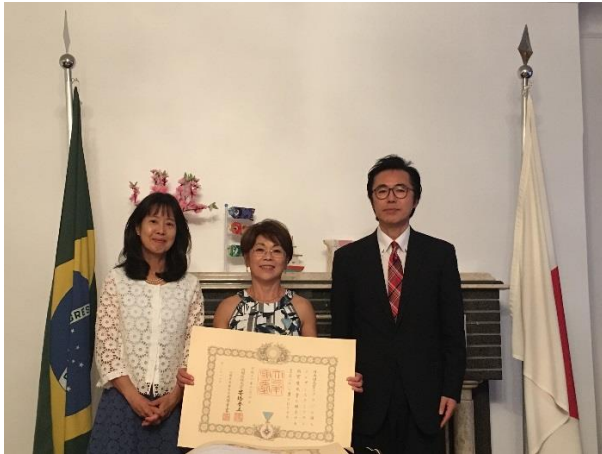
ハラ氏を囲む木村総領事夫妻



兵庫県事務所所長より祝電の読み上げ



ミウラ氏への瑞宝双光章の伝達式



ミウラ氏を囲む木村総領事夫妻



乾杯、万歳の声が祝杯と共に沸きあがった

伝達式では、両人を含む出席者にまつわる日伯両国の友好関係を示す結びつきを紐解くエピソードが紹介されました。昭和45年よりパラナ州と姉妹・友好提携を結んでいる兵庫県からは、兵庫県ブラジル事務所所長より祝電が読み上げられました。木村総領事はハラ氏及びミウラ氏へ永年にわたる貢献に感謝を述べた上で、今後、益々日伯両国民の間における友好関係及び連携・交流が活発になることを望むと述べました。

本件照会先：在クリチバ日本国総領事館 クボミ・上田・キヨミ・阿部職員
電話：(41)3322-4919 > 2番 (その他) メール：k-abe@c1.mofa.go.jp